



平成29年10月13日

各 位

会 社 名	株式会社テーオーホールディングス (旧 株式会社テーオー小笠原)
代 表 者 名	代表取締役社長 小笠原 康正 (JASDAQコード・9812)
問 合 せ 先 役職・氏名	専務執行役員 小山 直樹
電 話 番 号	0138-45-3911

(訂正)「平成28年5月期 第3四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年4月11日に公表いたしました「平成28年5月 第3四半期決算短信[日本基準] (連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

### 1. 訂正の理由

訂正の経緯につきましては、本日公表いたしました「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 2. 訂正内容

訂正箇所が多岐にわたるため訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付しております。

以上

(訂正後)



## 平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年4月11日

上場会社名 株式会社テーオー小笠原 上場取引所 東  
コード番号 9812 URL http://to-ogasawara.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小笠原 康正  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 太田 修治 TEL 0138-45-3911  
四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績（平成27年6月1日～平成28年2月29日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	28,692	3.0	160	△62.4	80	△78.1	△80	—
27年5月期第3四半期	27,859	△2.8	425	8.0	367	△6.4	233	△24.5

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 △161百万円 (ー%) 27年5月期第3四半期 492百万円 (62.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	△12.94	—
27年5月期第3四半期	37.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第3四半期	29,914	3,956	13.2	632.59
27年5月期	29,334	4,178	14.2	668.11

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 3,956百万円 27年5月期 4,178百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年5月期の連結業績予想（平成27年6月1日～平成28年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	7.3	400	—	300	—	200	639.3	31.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、(添付資料) 3 ページの「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年5月期3Q	8,926,896株	27年5月期	8,926,896株
② 期末自己株式数	28年5月期3Q	2,672,893株	27年5月期	2,672,852株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年5月期3Q	6,254,031株	27年5月期3Q	6,254,162株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料) 2 ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による積極的な経済、金融政策により、大手企業を中心に、企業業績は回復基調で推移しましたが、中国を始めとする新興国経済の減速や、個人消費の伸び悩み等、依然、先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、引き続きコア事業の強化を図るため、新たな商品・サービスの提供に取り組むほか、収益力の向上を図るなど業務の効率化を積極的に推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が28,692百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は160百万円(同62.4%減)、経常利益は80百万円(同78.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は80百万円(前年同期は233百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比の数値の算定にあたっては、前第3四半期連結累計期間のセグメント数値を組替えたうえで比較を行っております。

木材事業におきましては、フローリング(床板)の施工引き渡し件数、建設資材の販売ともに減少し、売上高は前年同期を下回りました。営業利益につきましては、主に営業費用が減少したことなどにより前年同期を上回りました。

この結果、売上高は8,561百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は47百万円(同7.8%増)となりました。

流通事業におきましては、各種イベントの見直しや、ホームセンター部門において新商品の売場を強化するなど販売力対策を図りましたが、一部店舗の閉店などの影響により売上高、営業利益ともに前年を下回りました。

この結果、売上高は11,298百万円(同3.0%減)、営業利益は52百万円(同6.9%減)となりました。

住宅事業におきましては、受注高は前年同期に比べ増加しておりますが、引き渡し件数の減少などにより、売上高、営業利益ともに、前年を下回ることとなりました。

この結果、売上高は785百万円(同25.4%減)、営業損失は71百万円(前年同期は152百万円の利益)となりました。

建設事業におきましては、受注高は堅調に推移しておりますが、公共工事及び民間工事ともに引渡し件数が減少し、売上高、営業利益ともに前年を下回りました。

この結果、売上高は1,018百万円(前年同期比52.0%減)、営業利益は26百万円(同50.1%減)となりました。

不動産賃貸事業におきましては、売上高は391百万円(同4.8%減)、営業利益は162百万円(同4.7%減)となりました。

自動車関連事業におきましては、軽自動車の増税、新型車の投入がなかったことなどにより、販売は低調に推移しているものの、第1四半期連結会計期間より北見日産自動車株式会社の経営成績が反映されたことに伴い、売上高は前年同期を上回ることとなり、営業利益につきましては損失額が減少いたしました。

この結果、売上高は5,769百万円(同87.1%増)、営業損失は7百万円(前年同期は37百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は29,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ580百万円増加しております。主な要因としましては現金及び預金が254百万円、受取手形及び売掛金が378百万円それぞれ減少しましたが、未成工事支出金が620百万円及び有形固定資産の「その他」に含まれるリース資産が487百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は25,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ802百万円増加しております。主な要因としましては、支払手形及び買掛金が1,286百万円減少したものの、短期借入金が1,281百万円及び流動負債の「その他」に含まれる前受金が767百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産は、その他有価証券評価差額金が114百万円減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ222百万円減少し、3,956百万円となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月14日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,203,151	948,243
受取手形及び売掛金	3,672,974	3,294,949
営業貸付金	1,082,682	1,019,253
商品及び製品	4,400,428	4,752,254
販売用不動産	2,678,510	2,492,203
原材料及び貯蔵品	1,115,458	995,129
未成工事支出金	13,461	634,262
その他	<u>825,825</u>	<u>722,990</u>
貸倒引当金	△252,292	△178,665
流動資産合計	<u>14,740,200</u>	<u>14,680,620</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,314,634	3,232,958
賃貸用資産(純額)	4,019,868	3,931,120
土地	<u>4,026,856</u>	<u>3,984,658</u>
その他(純額)	1,102,019	1,816,254
有形固定資産合計	<u>12,463,378</u>	<u>12,964,991</u>
無形固定資産		
のれん	<u>283,161</u>	<u>248,737</u>
その他	76,152	112,663
無形固定資産合計	<u>359,314</u>	<u>361,401</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	654,697	709,265
その他	<u>1,542,074</u>	<u>1,563,407</u>
貸倒引当金	△425,386	△365,399
投資その他の資産合計	<u>1,771,385</u>	<u>1,907,273</u>
固定資産合計	<u>14,594,078</u>	<u>15,233,666</u>
資産合計	<u>29,334,278</u>	<u>29,914,287</u>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,485,491	5,198,923
短期借入金	9,994,282	11,275,667
未払法人税等	<u>124,284</u>	31,035
引当金	216,218	183,875
その他	<u>1,778,964</u>	<u>2,029,835</u>
流動負債合計	<u>18,599,240</u>	<u>18,719,337</u>
固定負債		
長期借入金	4,465,202	4,554,338
退職給付に係る負債	<u>788,152</u>	<u>742,723</u>
役員退職慰労引当金	62,498	78,932
その他	<u>1,240,766</u>	1,862,764
固定負債合計	<u>6,556,619</u>	<u>7,238,758</u>
負債合計	<u>25,155,859</u>	<u>25,958,096</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,775,640	1,775,640
資本剰余金	1,953,655	1,953,655
利益剰余金	<u>1,810,890</u>	<u>1,669,645</u>
自己株式	$\Delta 1,303,722$	$\Delta 1,303,758$
株主資本合計	<u>4,236,463</u>	<u>4,095,182</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,751	$\Delta 10,906$
退職給付に係る調整累計額	$\Delta 161,796$	$\Delta 128,085$
その他の包括利益累計額合計	<u><math>\Delta 58,044</math></u>	<u><math>\Delta 138,991</math></u>
純資産合計	<u>4,178,418</u>	<u>3,956,191</u>
負債純資産合計	<u>29,334,278</u>	<u>29,914,287</u>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	27,859,516	28,692,164
売上原価	<u>22,273,246</u>	<u>22,818,467</u>
売上総利益	<u>5,586,270</u>	<u>5,873,697</u>
販売費及び一般管理費	<u>5,160,503</u>	<u>5,713,484</u>
営業利益	<u>425,766</u>	<u>160,212</u>
営業外収益		
受取利息	2,337	1,446
受取配当金	24,988	28,410
受取販売手数料	28,662	28,067
受取保険金	9,040	29,148
その他	58,685	64,993
営業外収益合計	<u>123,713</u>	<u>152,067</u>
営業外費用		
支払利息	161,917	155,414
その他	20,274	76,556
営業外費用合計	<u>182,192</u>	<u>231,971</u>
経常利益	<u>367,288</u>	<u>80,308</u>
特別利益		
固定資産売却益	8,019	11,776
特別利益合計	<u>8,019</u>	<u>11,776</u>
特別損失		
固定資産除却損	2,304	2,766
固定資産売却損	755	465
減損損失	—	23,884
関係会社株式評価損	—	9,900
賃貸借契約解約損	—	16,845
その他	—	4,047
特別損失合計	<u>3,059</u>	<u>57,909</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>372,248</u>	<u>34,175</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>98,688</u>	<u>74,835</u>
法人税等調整額	<u>40,122</u>	<u>40,290</u>
法人税等合計	<u>138,811</u>	<u>115,126</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>233,437</u>	<u>△80,950</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	<u>233,437</u>	<u>△80,950</u>

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	233,437	△80,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220,416	△114,657
退職給付に係る調整額	38,718	33,711
その他の包括利益合計	259,134	△80,946
四半期包括利益	492,572	△161,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	492,572	△161,897

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(訂正前)



## 平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月11日

上場会社名 株式会社テーオー小笠原 上場取引所 東  
コード番号 9812 URL <http://to-ogasawara.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小笠原 康正  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 太田 修治 TEL 0138-45-3911  
四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成28年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	28,692	3.0	143	<u>△66.6</u>	63	<u>△82.9</u>	△84	—
27年5月期第3四半期	27,859	△2.8	428	9.5	369	△5.0	249	△18.5

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 △165百万円(—%) 27年5月期第3四半期 508百万円(69.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	<u>△13.58</u>	—
27年5月期第3四半期	39.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第3四半期	29.774	3.865	13.0	618.09
27年5月期	29.189	4.091	14.0	654.26

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 3.865百万円 27年5月期 4.091百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	7.3	400	—	300	—	200	二	31.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、(添付資料) 3 ページの「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年5月期3Q	8,926,896株	27年5月期	8,926,896株
② 期末自己株式数	28年5月期3Q	2,672,893株	27年5月期	2,672,852株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年5月期3Q	6,254,031株	27年5月期3Q	6,254,162株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料) 2 ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による積極的な経済、金融政策により、大手企業を中心に、企業業績は回復基調で推移しましたが、中国を始めとする新興国経済の減速や、個人消費の伸び悩み等、依然、先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、引き続きコア事業の強化を図るため、新たな商品・サービスの提供に取り組むほか、収益力の向上を図るなど業務の効率化を積極的に推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が28,692百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は143百万円(同66.6%減)、経常利益は63百万円(同82.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は84百万円(前年同期は249百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比の数値の算定にあたっては、前第3四半期連結累計期間のセグメント数値を組替えたうえで比較を行っております。

木材事業におきましては、フローリング(床板)の施工引き渡し件数、建設資材の販売ともに減少し、売上高は前年同期を下回りました。営業利益につきましては、主に営業費用が減少したことなどにより前年同期を上回りました。

この結果、売上高は8,561百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は47百万円(同7.8%増)となりました。

流通事業におきましては、各種イベントの見直しや、ホームセンター部門において新商品の売場を強化するなど販売力対策を図りましたが、一部店舗の閉店などの影響により売上高、営業利益ともに前年を下回りました。

この結果、売上高は11,298百万円(同3.0%減)、営業利益は56百万円(同16.2%減)となりました。

住宅事業におきましては、受注高は前年同期に比べ増加しておりますが、引き渡し件数の減少などにより、売上高、営業利益ともに、前年を下回ることとなりました。

この結果、売上高は785百万円(同25.4%減)、営業損失は71百万円(前年同期は152百万円の利益)となりました。

建設事業におきましては、受注高は堅調に推移しておりますが、公共工事及び民間工事ともに引渡し件数が減少し、売上高、営業利益ともに前年を下回りました。

この結果、売上高は1,018百万円(前年同期比52.0%減)、営業利益は26百万円(同50.1%減)となりました。

不動産賃貸事業におきましては、売上高は391百万円(同4.8%減)、営業利益は162百万円(同4.7%減)となりました。

自動車関連事業におきましては、軽自動車の増税、新型車の投入がなかったことなどにより、販売は低調に推移しているものの、第1四半期連結会計期間より北見日産自動車株式会社の経営成績が反映されたことに伴い、売上高は前年同期を上回ることとなり、営業利益につきましては損失額が減少いたしました。

この結果、売上高は5,769百万円(同87.1%増)、営業損失は28百万円(前年同期は37百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は29,774百万円となり、前連結会計年度末に比べ584百万円増加しております。主な要因としましては現金及び預金が254百万円、受取手形及び売掛金が378百万円それぞれ減少しましたが、未成工事支出金が620百万円及び有形固定資産の「その他」に含まれるリース資産が487百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は25,908百万円となり、前連結会計年度末に比べ811百万円増加しております。主な要因としましては、支払手形及び買掛金が1,286百万円減少したものの、短期借入金が1,281百万円及び流動負債の「その他」に含まれる前受金が767百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産は、その他有価証券評価差額金が114百万円減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ226百万円減少し、3,865百万円となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月14日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。



3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,203,151	948,243
受取手形及び売掛金	3,672,974	3,294,949
営業貸付金	1,082,682	1,019,253
商品及び製品	4,400,428	4,752,254
販売用不動産	2,678,510	2,492,203
原材料及び貯蔵品	1,115,458	995,129
未成工事支出金	13,461	634,262
その他	<u>779,270</u>	<u>692,868</u>
貸倒引当金	△252,292	△178,665
流動資産合計	<u>14,693,645</u>	<u>14,650,498</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,314,634	3,232,958
賃貸用資産(純額)	4,019,868	3,931,120
土地	<u>3,911,806</u>	<u>3,869,608</u>
その他(純額)	1,102,019	1,816,254
有形固定資産合計	<u>12,348,328</u>	<u>12,849,941</u>
無形固定資産		
のれん	<u>288,626</u>	<u>252,563</u>
その他	76,152	112,663
無形固定資産合計	<u>364,779</u>	<u>365,227</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	654,697	709,265
その他	<u>1,553,440</u>	<u>1,564,871</u>
貸倒引当金	△425,386	△365,399
投資その他の資産合計	<u>1,782,751</u>	<u>1,908,737</u>
固定資産合計	<u>14,495,859</u>	<u>15,123,906</u>
資産合計	<u>29,189,504</u>	<u>29,774,405</u>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,485,491	5,198,923
短期借入金	9,994,282	11,275,667
未払法人税等	<u>132,556</u>	31,035
引当金	216,218	183,875
その他	<u>1,679,876</u>	<u>1,944,742</u>
流動負債合計	<u>18,508,424</u>	<u>18,634,244</u>
固定負債		
長期借入金	4,465,202	4,554,338
退職給付に係る負債	<u>820,863</u>	<u>778,608</u>
役員退職慰労引当金	62,498	78,932
その他	<u>1,240,766</u>	1,862,764
固定負債合計	<u>6,589,330</u>	<u>7,274,643</u>
負債合計	<u>25,097,754</u>	<u>25,908,888</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,775,640	1,775,640
資本剰余金	1,953,655	1,953,655
利益剰余金	<u>1,724,221</u>	<u>1,578,971</u>
自己株式	$\Delta 1,303,722$	$\Delta 1,303,758$
株主資本合計	<u>4,149,794</u>	<u>4,004,508</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,751	$\Delta 10,906$
退職給付に係る調整累計額	$\Delta 161,796$	$\Delta 128,085$
その他の包括利益累計額合計	<u><math>\Delta 58,044</math></u>	<u><math>\Delta 138,991</math></u>
純資産合計	<u>4,091,749</u>	<u>3,865,517</u>
負債純資産合計	<u>29,189,504</u>	<u>29,774,405</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	27,859,516	28,692,164
売上原価	<u>22,262,484</u>	<u>22,814,693</u>
売上総利益	<u>5,597,032</u>	<u>5,877,471</u>
販売費及び一般管理費	<u>5,168,616</u>	<u>5,734,380</u>
営業利益	<u>428,415</u>	<u>143,090</u>
営業外収益		
受取利息	2,337	1,446
受取配当金	24,988	28,410
受取販売手数料	28,662	28,067
受取保険金	9,040	29,148
その他	58,685	64,993
営業外収益合計	<u>123,713</u>	<u>152,067</u>
営業外費用		
支払利息	161,917	155,414
その他	20,274	76,556
営業外費用合計	<u>182,192</u>	<u>231,971</u>
経常利益	<u>369,937</u>	<u>63,186</u>
特別利益		
固定資産売却益	8,019	11,776
特別利益合計	<u>8,019</u>	<u>11,776</u>
特別損失		
固定資産除却損	2,304	2,766
固定資産売却損	755	465
減損損失	—	23,884
関係会社株式評価損	—	9,900
賃貸借契約解約損	—	16,845
その他	—	4,047
特別損失合計	<u>3,059</u>	<u>57,909</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>374,897</u>	<u>17,053</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>83,073</u>	<u>66,563</u>
法人税等調整額	<u>42,112</u>	<u>35,445</u>
法人税等合計	<u>125,186</u>	<u>102,009</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>249,711</u>	<u>△84,955</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	<u>249,711</u>	<u>△84,955</u>

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	249,711	△84,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220,416	△114,657
退職給付に係る調整額	38,718	33,711
その他の包括利益合計	259,134	△80,946
四半期包括利益	508,846	△165,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	508,846	△165,902

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。